平成25年12月24日

各　　位

会 社 名：ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社
代表者名：代表取締役社長　菅野 隆二
（コード番号：6090 東証マザーズ）
問合せ先：取締役管理本部長　村上 秀明
（ TEL：03-3551-2180）

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成25年12月24日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【連結】　　（単位：百万円・％）

決算期 / 項目	平成26年３月期（予想）			平成26年３月期第２四半期累計期間（実績）		平成25年３月期（実績）	
		構成比	対前期増減率		構成比		構成比
売上高	638	100.0	28.6	203	100.0	496	100.0
営業利益	10	1.6	―	△82	―	△104	―
経常利益	26	4.1	―	△59	―	△93	―
当期（四半期）純利益	23	3.6	―	△60	―	△95	―
１株当たり当期（四半期）純利益	５円60銭			△15円65銭		△24円52銭	

（注）１．当社は、平成25年10月16日付で普通株式１株につき300株の株式分割を行っております。上記では平成25年３月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり当期（四半期）純利益を算出しております。

２．平成25年３月期（実績）及び平成26年３月期第２四半期累計期間（実績）の１株当たり当期（四半期）純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。平成26年３月期（予想）の１株当たり当期純利益は公募株式数（850,000株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分（最大150,000株）は考慮しておりません。

３．当社グループの主力顧客である大学及び公的研究機関は、公的な補助金を活用し、研究開発活動を進めており、当社グループの売上高は例年下期、特に第４四半期に集中する傾向があります。

以上

ご注意：この文書は、当社の新株式発行及び株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行及び株式売出届出目論見書及び訂正事項分（作成された場合）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月24日

上 場 会 社 名	ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	6090	URL	http://humanmetabolome.com/
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)菅野　隆二	
問合せ先責任者	(役職名)取締役管理本部長	(氏名)村上　秀明	(TEL)03-3551-2180
四半期報告書提出予定日	ー	配当支払開始予定日	ー

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	203	―	△82	―	△59	―	△60	―
25年３月期第２四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

(注)　包括利益　26年３月期第２四半期　　△59百万円（　―%）　25年３月期第２四半期　　―百万円（　―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
26年３月期第２四半期	△15.65	―
25年３月期第２四半期	―	―

(注)１．当社は、平成26年３月期第２四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年３月期第２四半期の数値及び平成26年３月期第２四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
２．当社は、平成25年10月16日付で普通株式１株につき300株の割合で株式分割を行っております。従いまして、平成26年３月期第２四半期の１株当たり四半期純利益については、当連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	363	114	31.5
25年３月期	425	173	40.8

(参考) 自己資本　26年３月期第２四半期　114百万円　25年３月期　173百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
25年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年３月期	―	0.00			
26年３月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	638	28.5	10	―	26	―	23	―	5.60

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無
当社は、平成25年10月16日付で普通株式１株につき300株の割合で株式分割を行っております。従いまして、連結業績予想の１株当たり当期純利益については、当連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり当期純利益金額を算定しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	3,885,000株	25年３月期	3,885,000株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	ー	25年３月期	ー
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	3,885,000株	25年３月期２Ｑ	ー

（注）　当社は、平成25年10月16日付で普通株式１株につき300株の割合で株式分割を行っております。従いまして、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）は、当該株式分割が前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法の基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報　（３）　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……10
（継続企業の前提に関する注記） ……10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……10
（セグメント情報等） ……10
（重要な後発事象） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当社グループは、第10期連結会計年度より連結財務諸表を作成しております。前第２四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外の景気に対する下振れ懸念は依然残るものの、円安による輸出の持ち直しにより企業の収益が回復し、景気は緩やかな回復基調にあります。

このような状況の中、当社グループは顧客向けのセミナーやキャンペーンを継続的に行うとともに、がん研究向けの新しい解析プランの販売や体外診断用医薬品の開発に向けた研究開発に注力してまいりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は203,700千円、営業損失は82,995千円、経常損失は59,431千円、四半期純損失60,816千円となりました。

セグメントの状況を示すと、次のとおりであります。

①　メタボローム解析事業

成長領域である医薬分野への営業資源を集中するとともに、セミナーやキャンペーンを継続的に実施しました。また、国内及び北米地域において、がんエネルギー代謝用解析プラン「Ｃ－ＳＣＯＰＥ」の販売活動を積極的に展開しました。この結果、売上高は163,525千円、セグメント利益は75,821千円となりました。

②　バイオマーカー事業

大うつ病性障害のバイオマーカー開発においては、体外診断用医薬品開発に向けて、酵素や抗体を用いた臨床検査法の開発を進めました。また、既存の開発プロジェクトである糖尿病性腎症及び線維筋痛症のマーカー探索研究を進めるとともに、新たに学校法人慶應義塾と特許実施許諾契約を締結し、肝臓疾患のマーカーの開発権を獲得しました。この結果、売上高は3,750千円、セグメント損失は27,661千円となりました。

③　メタボロミクスキット事業

主に試薬や限外ろ過フィルターの販売を行い、売上高は12,145千円、セグメント損失は2,000千円となりました。

④　人材派遣事業

大学向けに研究者、技術者等を派遣し、売上高は24,279千円、セグメント利益は1,750千円となりました。

（２）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は、274,556千円（前連結会計年度比15.5％減）となり、50,543千円減少しました。これは、現金及び預金が36,827千円、売掛金が25,088千円減少したこと等によります。

（固定資産）

当第２四半期連結会計期間末における固定資産は、88,898千円（前連結会計年度比11.2％減）となり、11,224千円減少しました。これは、減価償却累計額が16,616千円増加したこと等によります。

（流動負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は166,068千円（前連結会計年度比8.6％増）となり、前連結会計年度末に比べ13,220千円増加しました。これは、１年以内返済予定の長期借入金が38,580千円増加したものの、短期借入金が40,000千円減少したことや、質量分析装置の年間保守料や前受金等の増加によりその他の流動負債が19,261千円増加したこと等によります。

（固定負債）

当第２四半期連結会計期間末における固定負債は82,981千円（前連結会計年度比15.9％減）となり、前連結会計年度末に比べ15,728千円減少しました。これは、長期借入金が8,520千円、リース債務が7,122千円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産は114,405千円（前連結会計年度比34.1％減）となり、前連結会計年度末に比べ59,260千円減少しました。これは、四半期純損失の計上60,816千円と為替換算調整勘定の増加1,556千円によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社が事業を展開しているメタボローム研究関連市場においては、現在メタボロームに関する研究論文が増加しており、今後も引続き研究規模は拡大して推移するものと見込んでおります。メタボローム解析事業においては、従来からの研究分野に加え、がん研究用解析プランの発売に伴い、がん研究分野の解析試験受託が増加しております。また、バイオマーカー事業においては、提携先との契約に基づき計画を策定しております。また、下期の営業損益及び営業外損益については、株式公開に伴う諸費用が一時的に発生する見込みであり、これを考慮して利益計画を策定しております。

これにより、当期（平成26年３月期）の業績予想につきましては、売上高638百万円（前年同期比28.6％増）、営業利益10百万円、経常利益は26百万円、当期純損失は23百万円を見込んでおります。

なお、当社の主要顧客は大学が多いため、例年売上高の計上は第３四半期以降に集中するため、通期の業績予想との比較でみると、売上高や利益の進捗率が低く出る傾向にあります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	165,341
売掛金	72,420
商品	6,528
仕掛品	4,458
原材料及び貯蔵品	6,591
その他	19,726
貸倒引当金	△509
流動資産合計	274,556
固定資産	
有形固定資産	
建物	16,550
工具、器具及び備品	142,686
リース資産	67,371
減価償却累計額	△152,512
有形固定資産合計	74,095
無形固定資産	7,237
投資その他の資産	7,564
固定資産合計	88,898
資産合計	363,454

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部	
流動負債	
買掛金	441
短期借入金	20,000
1年内返済予定の長期借入金	57,040
リース債務	14,152
未払金	24,635
未払法人税等	2,813
その他	46,985
流動負債合計	166,068
固定負債	
長期借入金	39,980
リース債務	30,458
繰延税金負債	1,040
資産除去債務	11,097
その他	404
固定負債合計	82,981
負債合計	249,049
純資産の部	
株主資本	
資本金	531,000
資本剰余金	520,000
利益剰余金	△942,920
株主資本合計	108,079
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	6,325
その他の包括利益累計額合計	6,325
純資産合計	114,405
負債純資産合計	363,454

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	203,700
売上原価	88,261
売上総利益	115,438
販売費及び一般管理費	198,434
営業損失（△）	△82,995
営業外収益	
受取利息	16
補助金収入	25,766
その他	190
営業外収益合計	25,973
営業外費用	
支払利息	1,512
為替差損	556
その他	339
営業外費用合計	2,408
経常損失（△）	△59,431
税金等調整前四半期純損失（△）	△59,431
法人税、住民税及び事業税	1,484
法人税等調整額	△99
法人税等合計	1,385
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△60,816
四半期純損失（△）	△60,816

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△60,816
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	1,556
その他の包括利益合計	1,556
四半期包括利益	△59,260
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	△59,260
少数株主に係る四半期包括利益	―

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失（△）	△59,431
減価償却費	17,576
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△139
受取利息	△16
支払利息	1,512
為替差損益（△は益）	582
補助金収入	△25,766
売上債権の増減額（△は増加）	25,088
たな卸資産の増減額（△は増加）	△7,107
仕入債務の増減額（△は減少）	420
前払費用の増減額（△は増加）	△4,124
前受収益の増減額（△は減少）	456
前受金の増減額（△は減少）	18,693
未払金の増減額（△は減少）	△4,838
未払費用の増減額（△は減少）	7,881
未払消費税等の増減額（△は減少）	△4,841
預り金の増減額（△は減少）	△2,973
その他	599
小計	△36,424
利息及び配当金の受取額	16
利息の支払額	△1,746
補助金の受取額	25,766
補助金の返還額	△49
法人税等の支払額	△2,157
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,593
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△3,479
無形固定資産の取得による支出	△3,027
敷金の回収による収入	161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,345
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	20,000
短期借入金の返済による支出	△60,000
長期借入れによる収入	40,000
長期借入金の返済による支出	△9,940
リース債務の返済による支出	△6,939
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,879
現金及び現金同等物に係る換算差額	991
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△36,827
現金及び現金同等物の期首残高	202,168
現金及び現金同等物の四半期末残高	165,341

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	メタボローム解析事業	バイオマーカー事業	メタボロミクスキット事業	人材派遣事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	163,525	3,750	12,145	24,279	203,700
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	163,525	3,750	12,145	24,279	203,700
セグメント利益又は損失（△）	75,821	△27,661	△2,000	1,750	47,910

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	47,910
全社費用（注）	△130,906
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△82,995

（注）　セグメント利益の全社費用△130,906千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

（重要な後発事象）

当社は、平成25年９月24日開催の取締役会決議に基づき、次の株式分割を行っております。

１．株式分割の目的

当社株式の流動性向上と投資家層拡大を図るためであります。

２．株式分割の割合及び時期

平成25年10月16日付をもって平成25年10月15日17時現在最終の株主名簿に記載された株主の所有株式数を１株につき300株の割合をもって分割をしております。

３．分割により増加する株式数　　普通株式3,872,050株

４．発行可能株式総数の増加及び単元株制度の導入

平成25年10月16日をもって当社の定款第６条を変更し、発行可能株式総数を11,960,000株増加し、12,000,000株としております。

なお、平成25年10月15日開催の臨時株主総会決議に基づき、定款第７条を新設し、平成25年10月16日付をもって100株を１単元とする単元株制度を導入しております。